

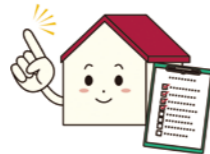
住宅の耐震化に対する補助制度

制度拡充しました

町では、木造住宅の無料耐震診断を行っています

耐震診断以外にも補強設計・補強工事・除却工事等に関する補助制度があります。

いつ起きてもおかしくない大地震に備え、制度の利用をご検討ください！



耐震診断の判定表

評点	判定
1.5以上	倒壊しない
1.0以上1.5未満	一応倒壊しない
0.7以上1.0未満	倒壊する可能性がある
0.7未満	倒壊する可能性が高い

■木造住宅耐震補強設計に対する補助

対象	木造住宅耐震診断を行い、評点が0.7未満と診断された旧基準木造住宅で、評点を1.0以上に する補強設計
補助金額	1棟当たりの耐震補強設計に要する経費の 18万円 を上限とした額 精密診断法*の場合は、上記の額に 16万円 を加算した額(最大34万円!) ← 拡充ポイント *精密診断とは、壁や天井を一部はがすなどして内部を確認することで、より正確な調査を行う 診断方法です。正確に補強すべき場所が判定でき、合理的な補強が可能となり、改修工事の費用 を抑えることに繋がります。

■木造住宅耐震補強工事に対する補助

対象	木造住宅耐震診断を行い、評点が0.7未満と診断された旧基準木造住宅で、評点を1.0以上に する工事で、補強設計を反映したもの
補助金額	下記の合計額 ①令和8年度まで 100万円(上限) ← 補助金額最大50万円UP ②1棟当たりの耐震補強工事に要する経費の5分の2の額と50万円を比較して、いずれ か少ない額 ③1棟当たりの耐震補強工事に要する経費より上記①と②の額を除いた額と15万円を比 較していずれか少ない額 耐震補強工事とあわせて行うリフォーム工事 1棟当たりのリフォーム工事に要する経費の3分の1の額と20万円を比較して、いずれか 少ない額

■木造住宅除却工事に対する補助

対象	木造住宅耐震診断を行い、評点が0.7未満と診断された 旧基準木造住宅* を除却する工事
補助金額	1棟当たりの除却工事に要する経費の23%の額と30万円を比較して、いずれか少ない額

※旧基準木造住宅…昭和56年5月31日以前に着工もしくは完成しているもの
在来軸組工法、伝統的工法、枠組壁工法の住宅
延べ面積の過半の部分が住宅の用に供されるもの

- 木造住宅耐震診断において評点が0.7未満と判定された旧基準木造住宅について、評点を0.7以上となるように簡易補強する工事についても、補助制度がありますのでお問い合わせください。
- 耐震補強設計・耐震補強工事(簡易耐震補強工事を含む)・除却工事の補助事業は、申請された当該年度末(3月末日)までに必要関係書類の提出を完了する必要がありますので、ご注意ください。
- 耐震補強工事を行った場合には、固定資産税(家屋)を減額する制度があります。
- 事後申請は受付できません。
- 詳しい条件等については、各補助金申請の前にご確認ください。

問合せ先 産業建設課 TEL 366・7117

令和6年能登半島地震災害派遣活動報告

総務課 課長補佐 鈴木 貴大(派遣期間:5月9日~5月15日)
税務課 主任 川面由起子(派遣期間:5月17日~5月23日)

私たちは、石川県輪島市にて、上記の期間、被害家屋認定調査の支援を行いました。被害家屋認定調査は、家屋の外部や内部を調査し、被害の程度を判定する業務です。派遣された時点で震災から4か月経過していましたが、輪島市内では少しずつ復旧が進んでいるものの、まだまだ道路には隆起や陥没箇所が見られたり、倒壊した家屋がそのまま残っている状態でした。

また、調査に伺った家は、強い揺れの影響で瓦のずれや崩落、家屋自体の傾き、屋内では雨漏りで天井や床が傷んでいる様子や、固定されていない家具が転倒している様子が多く見受けられました。

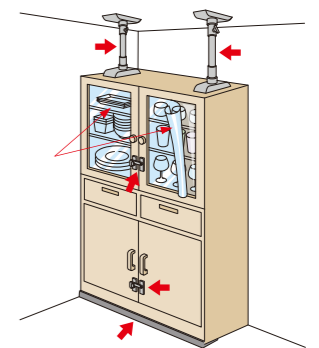
被害家屋認定調査は、被災者の方に交付する罹災証明書の根拠となる重要な調査のため、今回の経験を活かし、いつか来る災害に備えて職員の研修や速やかに罹災証明書を交付できる体制づくりに役立てます。

今回の災害派遣活動を通して、旧耐震基準で建てられた住宅が倒壊するなどの被害を受けている印象を受けました。住宅の耐震化や家具の固定などの重要性を実感しました。



地震に備えて家具など固定しよう！

- タンス**
壁などに金具や転倒防止器具で固定する。
- 本棚**
壁などに金具や転倒防止器具で固定する。重い本は下に、軽い本は上に置く。
- 食器棚**
壁などに金具や転倒防止器具で固定する。棚板には滑りにくい素材のシートなどを敷く。ガラス戸には飛散防止フィルムを貼る。
- 照明器具**
チェーンや金具で数か所固定する。
- テレビ**
耐震マット、ベルトで低い位置に固定する。
- 冷蔵庫**
突っ張り棒や耐震マット、ベルトで固定する。



詳しくは8月号7ページをご覧ください。

※川越町では、災害時要援護者家具固定事業として無料で家具固定ができる場合があります。

Q 防災クイズ

答えは12ページ下にあるよ！

【問1】 洪水の避難時に通るのを避ける場所は？

- ①高台 ②堤防 ③公園

【問2】 地震の際、ガスの元栓を閉めるタイミングはいつですか？

- ①揺れが収まった後 ②揺れている最中 ③揺れる前

【問3】 災害時の避難経路はどのように計画すべきですか？

- ①最も短い道を選ぶ ②災害に応じた複数の経路を考える ③一度決めた経路を変更しない